

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年12月25日

喫煙総量、COPD罹患と新型コロナ重症化の関連：

日本新型コロナ対策本部調査

【松崎雑感】

慶応大学を主体としたチームのデータです。1日喫煙箱数×喫煙年数で測定した喫煙総量が増えるほど、新型コロナ罹患による人工呼吸器治療リスクが有意に増加することが、日本でも証明されました。加熱式タバコや電子タバコの方が安全だなど、あーだ、こーだ言わずに、トラディショナルな紙巻きタバコをはじめとするタバコ製品と、それを連想させる安全性未確認の商品使用を推奨することは、今年限りにしませんか？

喫煙総量、COPD罹患と新型コロナ重症化の関連：日本新型コロナ対策本部調査

Watase M, Masaki K (慶応大学呼吸器内科), Chubachi S, et al. **Impact of accumulative smoking exposure and chronic obstructive pulmonary disease on COVID-19 outcomes: Report based on findings from the Japan COVID-19 Task Force** [published online ahead of print, 2022 Dec 20]. *Int J Infect Dis.* 2022;S1201-9712(22)00655-5. doi:10.1016/j.ijid.2022.12.019

目的：喫煙とCOPDは、新型コロナウイルス感染症の重症化因子である。しかし、この点に関する報告は多いとは言えない。本研究では、日本において、パックイヤーベース（1日喫煙箱数×喫煙年数）の喫煙総量とCOPD罹患の有無が、新型コロナの予後にどのように関連するかを調査した。

方法：2020年2月から21年12月までに日本新型コロナウイルス感染症対策本部調査が対象とした1266名の喫煙者について、自己申告ベースのパックイヤー喫煙総量（PY：1日1箱喫煙を40年間継続ならPY=40）およびCOPD罹患の有無と新型コロナの重症化リスクの関連を検討した。COPD罹患患者は115名、非罹患患者は1151名。COPD非罹患患者のPYは10未満が293名、10～30が497名、30以上が361名。重症化のアウトカムは人工呼吸器治療とした。

結果

PYが増加するにつれて、人工呼吸器治療リスクが高くなっていた（<10 PY=7.8%, 10-30 PY=12.3%, >30 PY=15.2%, COPD=26.1%; $p<0.001$ ）。

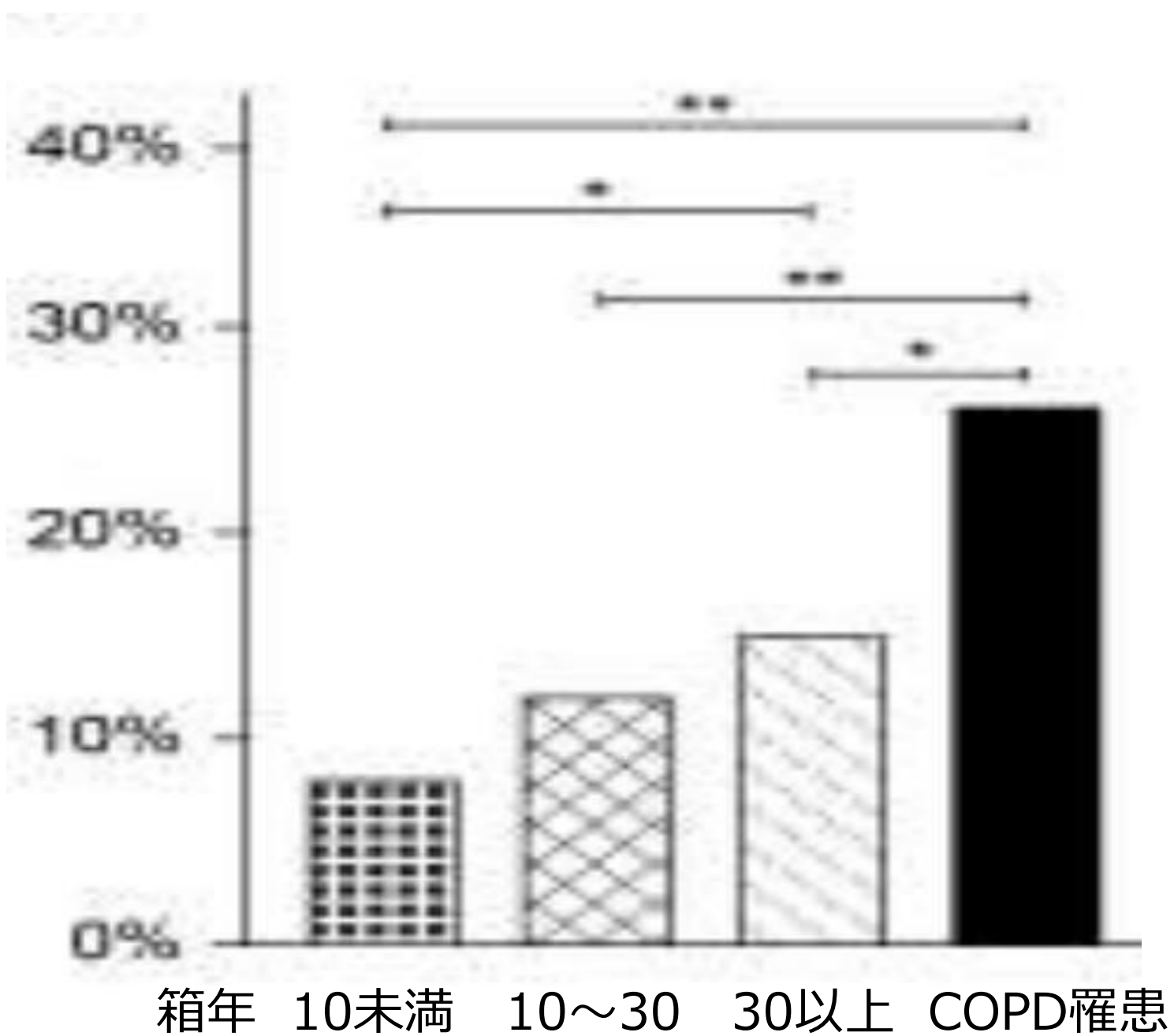
単変量解析による人工呼吸器治療オッズ比は、PY30以上の喫煙総量の人々で2.11倍、COPD罹患患者では4.14倍、多変量解析ではそれぞれ、2.38倍、7.94だった。

s 65才以下の人々でも、PY増加につれて人工呼吸器治療リスクが有意に増加していた。

結論

喫煙総量が増えるにつれて、新型コロナ罹患後の人工呼吸器治療リスクが増加していた。

人工呼吸器治療リスク



喫煙総量 (PY = 箱年)、COPD罹患と人工呼吸器治療の関連